

“今日”の「芸術」と「教育」の 共通構造を捉える

—美術することの人間学と、美術教育学の課題—

- 開催日 2014年12月20日(土) 午後1時~4時
- 場 所 CCAAアートプラザ「ギャラリーフレンド」 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20
- 参加費 無 料 (事前申込不要です。多くの方にご参加頂きたく思っております。是非お気軽にご参加ください。)
- パネラー 谷口幹也 × 神野真吾 × 相田隆司 × 柴田和豊

■ 主題趣旨

戦後日本の代表的な美学者である山本正男(1912-2007)は、かつて「美術教育は根源的に『美術することの人間学』を踏まえるべきである」と提言しました。本地区会では、山本正男の提言に関する研究報告、今日の「芸術」に関する実践研究報告、今日の「教育」に関する研究報告、そしてディスカッションの場を通じて、山本の提言の今日的な意味を検証し、“今日”の「芸術」と「教育」の共通構造を捉えることを試みます。本地区会が多くの方々、美術教育を考える多分野の方々との交流の場となればと考えております。

◆主 催：美術科教育学会 ◆共 催：現代〈A/E〉部会、科学研究費助成基盤研究(C)「戦後美術教育における人間像の変遷と美術教育実践の多様化」

◆問い合わせ先：谷口幹也 tmikiya@kwuc.ac.jp

※本地区会は、一部、科学研究費の助成を受け開催致します。

